

ふれあい情報

2025年3月10日(月) 第395号

■発行 日本退職者連合

■発行人 野田那智子

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合
HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



ジェンダー平等委員会

川辺委員長

を明確にし
ていくべき
である。私た
ちも一人ひ
とりができ
ることを取

催者を代表してジェンダー
平等委員会の川辺委員長が
挨拶を行い「トランプ大統領
へ政権交代したアメリカは、
多様性を生み出す政策等を
撤回し、性別は男性と女性の
みとする大統領令に署名し
た。日本政府は逆行した政策
を正し、国際秩序を守る立場



内山委員

学習会は、ジ
ェンダー平等
委員会の内山
委員の司会で
始まり、まず主

3月5日(水) 13時30分、連合会館2階大会議室において「ジ
ェンダー平等推進のための第13回学習会」を開催しました。
講師に弁護士林陽子さんをお招きして、「批准から40年、女性
差別撤廃条約と日本」というテーマで講演をしていただきました。
今回もウエブ併用で開催し、会場とウエブを含めて200名以上の参
加者となりました。以下、概要について報告します。

『ジェンダー平等推進のための 第13回学習会を開催』



ジェンダー平等委員会

島山事務局長

ジェンダー
平等委員会
の取り組み
状況につい
て報告を行

次に、ジェンダー平等委員
会の島山幸子事務局長より、
「ジェンダー
平等の取り組
みは継続しなければいけな
い。現役の女性役員比率も増
えているので、さらに充実さ
せていく」との連帯の挨拶を
受けました。



連合小原総合局長

総合政策推進
局の小原成朗
総合局長より
「ジェンダー
平等の取り組

り組んでいかなければいけ
ない」と挨拶し訴えました。
続いて連合

「批准から40年、女性差別撤廃条約と日本」
講師 林陽子 弁護士
国際女性年から50年、女性差別撤廃
条約批准から40年、男女雇用機会均等法から
40年女性参政権 が成立して80年の節目となり、これらのこと
が日本にもたらした変化や状況、1980 超党派国会議員 や元女性
官僚の取り組みによって「女性差別撤廃条約」に日本政府が署名
した背景など、「自身の経験も含めてお話をさせていただきます
。最後に、地方議会における「意見書採択」や「条例の制定」など
全国で取り組みを進めることが重要であることを共有して終了
しました。



いました。
とくに、今年「国際女性
デー」が定められて50周年
の節目の年になることや退
職者連合として7月以降の
「第2次行動計画(5年間)」
を作成して取り組みを強め
ていくとしました。また、「選
択的夫婦別姓制度」実現に向
けて、さらなる団体署名の協
力を呼びかけました。
その後、日本人として初め
て国連の「女性差別撤廃委員
会」の委員長を務められた林
陽子弁護士に講演をしてい
ただきました。



連合会館2階大会議室の会場

最後にこの学習会を踏ま
えて、それぞれの立場でジ
ェンダー平等推進に向けた取
り組みを進めていくことを
確認して学習会を終了しま
した。

2025春季生活闘争

「闘争開始宣言2.6中央集会」

「連合全国一斉アクション2.27中央集会」

「アクションデモ行進」に参加

連合は、2025春季生活闘争の開始を広く社会に向けて発信するとともに、3月の春季生活闘争の山場に向けて、継続的な賃金引き上げの社会的な醸成を図るために集会をはじめとする様々な行動を展開しています。

退職者連合も「政策・制度要求」実現に向けて、現・退一致の取り組みとして参加をしてきました。

闘争開始宣言

2.6中央集会

連合は、2月6日(木) 2025春季生活闘争の開始を広く社会に宣言することを目的に「よみうりホール」において中央集会を開催しました。退職者連合からも三役を中心に13名が参加しました。集会の冒頭では、連合に寄せられた街頭インタビューのオープニングムービーを上映し、それを踏まえて「連



退職者連合参加者の皆さん
(よみうりホール)

合に寄せられる期待や責任が、かつてないほど大きいということを改めて自覚して今春季生活闘争に取り組んでいく」との芳野会長の決意

と挨拶を皮切りに、UAゼンセンおよびJEC連合の加盟組織、連合石川、連合福岡からの決意表明を受け、全体で共有しました。また、よみうりホールでの中央集会の前段で、有楽町マリオン前において、労働組合づくりの専門ブースを設置して、労働組合の重要性についての周知・広報活動を行いました。



有楽町マリオン前

全国一斉アクション

2.27中央集会

連合は2月27日(木)日比谷公園大音楽堂に構成組織・単組、地方連合会から約1,700名が結集し、2025春季生活闘争「2.27連合全国一斉アクション中央集会・アクションデモ」を実施しました。

「中央集会」に先立ち、立憲民主党・国民民主党への政策・制度と選択的夫婦別姓制度に関して「要請行動」も行われました。集会は、芳野会長が挨拶、立憲民主党・野田佳彦代表、国民民主党・古川元久代表代行から激励挨拶がありました。



日比谷公園大音楽堂の中央集会に参加の皆さん

その後、清水事務局長から情勢報告などが行われ、最後に集会アピールを満場一致で採択し、取り組み決意を確認しました。

集会終了後のアクションデモは、7梯団に分かれて、日比谷公園から銀座を通り鍛冶橋交差点までの約1.8kmを「みんなでつくろう！賃上げがあたりまえの社会」「みんなでつくろう！働く仲間の労働組合」の横断幕を掲げて訴えてきました。

退職者連合からも、中央集会に約30名、全国一斉行動にも多くの会員が参加しました。

全国で参加された退職者連合の皆さん寒い中ありがとうございました。



第3梯団の先頭で横断幕を持ってデモ行進をする人見会長